



# MK EDUCATION

## International Language School

### MK 規則

#### 1. 学生としての義務

- ・ 私、 \_\_\_\_\_ は、次に該当する CPU ESL センター(MK EDUCATION)(以下「MK」)の規則に従います。
- ・ 私は、MK の学生として相応しい行動をします。
- ・ 私は、規則違反等があった場合に生じる、各種処遇を受け入れます。  
MK での研修期間中に以下の規則内容を把握・理解し、共同生活および学業の習得において正しい行動を望みます。

#### 2. 規則

##### I. 授業について

1. 授業はマンツーマンクラス(先生 1 名、学生 1 名)とグループクラス(先生 1 名、生徒 5 名)を基本とします。
  - ・ 下記の料金を支払うことで、授業を追加することができます。  
マンツーマン授業(1:1)1 時間追加: \$120/グループ授業(1:5)1 時間追加: \$80
  - ・ グループ授業の参加人数が 2 名未満の場合、別のグループ授業に変更となる場合があります。
  - ・ グループ授業をマンツーマン授業に変更する場合の追加費用: \$50
  - ・ MK に滞在する保護者は、最低 4 時間の受講が必須となります。

2. 授業は 8 時から始まり、17 時に終了します。
3. 授業時間は 50 分を基準とし、10 分の休憩時間と合わせて進行します。
4. 各授業終了後、先生の Attendance Sheet(出席簿)に必ず署名をして下さい。出席簿に署名をしない場合、欠席扱いとなります。
5. マンツーマン授業は、1 人の学生が同じ先生を 1 日に 2 時間以上受講することはできません。
6. **授業開始から 5 分遅れた場合は遅刻、15 分以上の遅刻は欠席とみなし、授業を受けることはできません。**
7. 授業中に携帯電話を使用(辞書として使用する場合を除く)する、グループ授業の際に他の学生の妨げとなる行動をしたと判断された場合は、ペナルティー(1 点減点)を受けることとなります。
8. 授業中に先生が携帯電話を使用する、授業に集中していない等の態度が見受けられた場合、マネージャーもしくはスーパーバイザーに報告してください。
9. 授業態度や出席率が悪い学生は、マネージャーもしくはスーパーバイザーと面談を行います。
10. 出席率は原則的に公示され、毎月初めの週に前月の出席率が公示されます。(自習、Weekly テスト、Monthly テストを含む)
11. 個人の事情による欠席に対し、補習授業は行いません。MK 側の事情や講師欠勤のため授業が受講できなかった場合、代替の先生や補習授業(担当の先生と要相談)に置き換えられます。
  - 冠婚葬祭などの事情により一時帰国した場合、1 日あたり 2 時間の補修授業を受けることができます。補習授業が必要ない場合、キャンセルすることもできます。
  - 一時帰国した期間だけ滞在延長を希望する際に発生するビザ、航空券などの諸費用は、原則学生が負担となります。
12. フィリピンの祝日は授業が行われません。(1 週間前に周知) 但し、日本の祝日は授業を行います。
13. 異常気象、自然災害、フライトの遅れやキャンセル、公共事務所や団体から指示された訓練などで授業を行えない場合、補習授業や代替授業は行われず、MK はいかなる責任も負えません。  
※但し、MK の過失で授業を実施されなかった場合、代替授業または払い戻し等の補償をします。
14. 代替授業を希望する場合、実施されなかった当該授業の日から 3 日以内にオフィスに申請してください。

##### II. 授業や先生の変更について

1. **授業変更の申請は、毎週木曜日 9:00~12:00 にオフィスで受け付けます。**  
授業変更可能な先生のスケジュールは火曜日の午後、本館 1 階の掲示板で確認することができます。

2. 授業変更申請の結果は、金曜日の 17:00 以降に校内掲示板で確認できます。
3. 授業変更申請後、変更にならなかった場合、次週に再申請が可能です。
4. 変更された授業は、翌週月曜日から適用/開始となります。
5. **新入生は、授業開始日から 2 回、授業を受けた後に変更可能です。**
  - 新入生の授業変更は、1 回で最大 2 クラスまで変更可能です。
  - 新入生の場合、授業変更時にオフィスで変更可能な先生を確認することができます。
  - 先生が個人の事情で辞めた場合、学生はすぐに授業の変更ができます。

#### <授業変更申請書>

CHANGING OF SCHEDULE SLIP			
Student's Name		Date	
TUTOR	TIME	TUTOR	TIME
Reasons for changing the class			
1. 授業が退屈である。 <i>The class is mainly focused on academics, thus monotonous.</i> 2. 先生の教え方が自分に合わない。 <i>The tutor's teaching skills ability does not match my skills ability.</i> 3. 先生の準備が十分でない。 <i>Holding the class without preparations.</i> 4. 先生がよく授業とは関係ない話をする。 <i>The tutor is frequently having free-talking class.</i> 5. その他 Etc			
Student's signature		Approved by	

#### ★授業出欠の規定（1ヶ月基準）

- ・ 遅刻 5 回(5 時間)=欠席 1 日とみなす
- ・ 無断欠席 1 日(6 時間)=ペナルティー(1 点減点)  
 ※欠席に際し、欠席理由書を作成した場合には、上記事項は適用されません。

### Ⅲ. 試験と教材

1. テストについて
  - ・ マンスリーテストは、毎月最終週の金曜日に行われます。Listening、Reading、Writing、Speaking を、それぞれ定められたスケジュールで行われます。(掲示板要確認)
  - ・ レベル別にテストが実施され、テストを受けなかった場合“1A”レベルが付与されます。
  - ・ TOEIC、IELTS 点数保証コースの場合、月 1 回以上の模擬試験が行われ、1 回で受験しなかった場合、保証コースに含まれている無料公認試験の参加資格が剥奪されます。

- ・ ウィークリーテストは、毎週金曜日の最初のマンツーマン授業時に実施されます。30 分間で試験を受け(英単語 20 題、文法問題 20 題、10 行エッセイ)、20 分で試験回答率(%)が公開されます。
2. 教材は、各自のレベルに応じて決まり、オフィスで購入することができます。**3 日以内であれば交換可能ですが、教材への書き込みをしたり、汚したりした場合は、交換は出来ません。**
  3. コピーはオフィスで行うことができます。  
 ※白黒コピー(1 枚):2 ペン/カラーコピー(1 枚):5 ペン

### Ⅳ. 先生・スタッフと学生の関係

1. 学生と先生は師弟関係のみを保たなければなりません。
  - 学生と先生・スタッフの身体的接触は許されません。(1 点減点)
  - 学生と先生・スタッフは異性間の関係を持つことを許されません。交際が発覚した場合、両名に強制退校の処置(学生 10 点減点)がなされます。この場合、コース費用の払い戻しはありません。
2. 学生および先生は、授業中に起きた個人的な問題を他人に口外しないことが原則ですが、問題が発生した場合、マネージャー・スーパーバイザーを介して解決する必要があります。(違反発覚時のペナルティー:減点 5 点)
3. 学生は、先生との金銭、その他物の貸し借りは許されません。  
 ※金銭的トラブル発生時、双方ともペナルティー(学生減点 5 点)が適用され、金銭的損害は、当事者間の責任となります。
4. マネージャー、先生および現地スタッフ、学生同士でもお互いに敬意を払い、言動や行動に注意して下さい。
5. 先生と旅行をする場合、1 週間前までにマネージャーの許可を得る必要があります
6. 現地スタッフにチップなどの金銭的、物質的な譲渡をしてはいけません。
7. MK の全従業員に宗教・人種的な理由で差別、人格冒涇をした場合、現地の法律に基づき処罰されることがありますので十分に注意して下さい。(フィリピンの法律が優先されます。)

8. 先生が、MK の経営や内部事情等を学生に流布することがあった場合、直ちにオフィスに報告してください。オフィスへの報告がなく、当該先生と同調した行動をし、虚偽の流布等の問題があった場合は、強制退校または法的措置の対象となります。

## V. 寮の生活について

- 寮の規定(各項目について、ペナルティーが課されます)
  - 寮内での喫煙、アルコール持ち込み・飲酒、寮内での調理、食堂の食器や食べ物の持ち出し(減点3点)は禁止です。  
但し、病気などの理由で、食堂の食器および食べ物を持ち出す場合、オフィスの許可を得ることで可能となります。
    - 部屋の清掃時に、規定に反する酒や調理器具が発見された場合、許可なく押収します。
    - 規定持ち込み禁止物品確認のため、警備員が正門で荷物チェックを行う場合があります。拒否する場合、全ての荷物を押収される場合があります。
  - 異性間の部屋の出入り
    - 摘発された場合、10点減点
    - 夫婦のみ同じ部屋の使用が可能です。(親が同意した場合のみ)
 ※他の学生より性的嫌がらせを受けた場合は、即時オフィスへ通報してください。関連事実を確認した場合、加害者は即時退学となり、法的処置を取ります。
- IDカードについて
 

IDカードは、常に携帯しなければなりません。(IDカード未所持者は外出不可)

  - MK・学生寮・外出や両替、国内線の子チケット予約時に身分証明書として使用できます。(紛失した場合、再発行費用 150 ペソかかります)
- 施設利用について
  - プール、ジム、バスケットボールコートが使用できます。(プールは1回 150 ペソ)
  - 売店の利用時間は、通常平日 08:00～19:00 までとなります。但し、MK 側の事情により営業時間が変更する場合があります。

### <利用時間>

施設名称	使用可能時間
プール(ヴィレッジ内クラブハウス)	08:00～19:00
ジム	06:00～22:00
バスケットボール	08:00～19:00

- 洗濯について
  - ランドリーショップは、土曜日以外は 11:00～20:00 まで営業しています。
  - 洗濯は、ドロップオフサービスとセルフランドリーから選択することができます。
  - ドロップオフサービス
 

ドロップオフサービスの場合、5kg まで 150 ペソ、1 kg 追加ごとに 30 ペソの追加料金がかかります。最大重量は 8kg となります。

    - 原則、洗濯物を預けた 24 時間後にランドリーショップで洗濯物を受取ができます。  
\* 但し、1, 2 月、7～9 月の繁忙期は受取時間が変更となる可能性があります。
  - セルフランドリー
 

セルフランドリーは、ランドリーショップの営業時間に利用できます。

    - セルフランドリーは、洗濯・ドライともに 8kg まで利用可能で、各々 55 ペソの費用がかかります。洗濯剤・柔軟剤はランドリーショップにて各 10 ペソで購入することも可能です。
    - 衣服紛失等に関する責任を MK では負いかねますので、必ず洗濯が完了するまでランドリーショップを離れないでください。
    - 洗剤は、液体洗剤のみ可能です。

\* 注意

  - 衛生面を考慮して洗濯するように心がけておりますが、フィリピンは水質、洗剤が良くないこともあり、衣服を傷めることがありますので、高価なものや大切なものを預ける際は自己責任となります。
  - 誤って洗濯不可な服を預けた場合、MK では一切責任を負いません。
  - 洗濯物混同防止のため、衣類(タグ等)に自身のランドリー番号を記入して下さい。(油性ペンで記入)
  - ランドリー番号未記入に起因する紛失については一切責任を負いません。
  - 衛生面の向上のため、MK はランドリーサービスを外部委託しております。

#### 5. 部屋の清掃について

- ・ 男性・女性部屋でそれぞれ指定した曜日に清掃を受けることが可能であり、学生が希望の時間を事前に指定をし、その時間にハウスキーパーが掃除を行います。
- ・ 部屋の清掃は、部屋に住む学生のうち1人以上立会いの元で行われます。時間を指定しても部屋に誰もいない場合、清掃は行われません。
- ・ Azar Wing 側にある掲示板の make up スケジュールに、本人が希望する時間に部屋番号を記載して下さい。但し、同じ時間に重複して記載することはできず、清掃時間は10～15分である点を考慮して記入して下さい。  
※この規定は、より清潔に清掃するためと紛失物の発生を防止することを目的としています。  
清掃前に、個人の持ち物の紛失に注意して下さい。  
ベッドシーツは、清掃を申請した部屋にて、男子学生は月曜日、女子学生は火曜日、週1回の交換が原則です。学生は個人的に部屋掃除を依頼してはいけません。

#### 6. Wi-Fiについて

Wi-Fiを共有するにあたり、個人的にインターネットロックを掛ける、ファイルのダウンロードをして他のユーザーのインターネット使用の妨げとなる行動は固く禁じられています。(ロックをかけて個人使用した場合、3点減点)

#### 7. 食事について

・朝食 07:00-08:00/昼食 12:00～13:00/夕食 17:00-18:00

※但し、7,8月と1,2月の繁忙期は昼食 11:00～13:00/夕食 17:00～18:30に変更されます。

※食事の時間、メニューなどは、現地及びMKの事情により変更することがあります。

#### 8. 夜間自習について

- ・ 月～木曜日の20:00から22:00まで自習時間とし、20時および21時に点呼日誌に署名をします。21時以降スタッフより抜き打ち点呼をする場合がありますが、21時までに署名しても抜き打ち点呼時不在の場合は欠席と見なします。

#### 9. 自習室について

《自習室利用可能時間》

	月曜日～木曜日	金曜日	土・日曜日
Convention Room	08:00～00:00	08:00～00:00	8:00～00:00
Harvart Hall	20:00～22:00	休み	休み
Study Cafe	10:00～22:00	休み	11:00～20:00

- ・ 音読可能な自習室(声を出して勉強可能、LGC2 および LGC3)は20時～22時まで使用可能です。
- ・ 自習室に私物は置かないで下さい。必要と判断された場合、午前8時に自習室に置いてある私物をすべて移動させる場合があります。

- ・ 英語学習目的以外のビデオや動画を視聴、ダウンロードした場合、ペナルティ(1点減点)が発生します。

#### 10. 門限について

	月～木曜日	金・土曜日	日曜日
通常時	20:00	02:00	22:00
特別な外出が必要な場合(許可必須)	22:00		

- ・ 門限後に、不正な方法でMK内に入った場合、5点減点とします。
  - ・ 学生の退寮日前日については、マネージャーの許可を得て翌日2時に帰寮することができます。但し、退寮日前の学生のみにも適用され、外出前に必ず校長の許可を得る必要があります。帰国する学生と一緒に外出したい学生は、マネージャーの許可を事前に得たうえで、外出が可能です。
  - ・ 門限を破った場合は2点減点となります。
- #### 11. 貴重品の管理について
- ・ **貴重品や現金は、オフィスに預けることが可能です。**  
オフィスに預けた場合以外の物品の紛失については、MKは一切責任を負いません。
  - ・ **教室・寮・自習室などMK内での個人の持ち物は、学生本人が常に管理をし、所持品を置いて席を離れないようにして下さい。**
  - ・ 校内・校外問わず各自が紛失したものについては、MKでは一切責任を負いません。
    - 盗難被害に遭われた場合、明確な証拠をオフィスに提示し、保険用のPolice Reportをご希望の場合、オフィスのスタッフが同行しPolice Reportを受け取れるようにお手伝いします。発行時にかかる費用はすべて自己負担となります。
    - 虚偽の発言・証言に伴うすべての責任は学生本人に帰結し、それに伴うペナルティ(10点減点)とすべての法的責任は、学生本人が負うものとします。
- #### 12. 病気や事故への対処
- ・ 簡単な処置や薬が必要な場合、オフィスにて応急処置や薬の処方を受けることが可能です。
    - ・ 体の具合が悪くなった場合、マネージャーまたはスタッフが病院に同行し、保険用診断書の発給のお手伝いをします。医療費及び交通費などは学生の負担となります。
    - ・ 3日以上入院により授業を受けられなかった場合、補習授業(1日あたり2時間分)を受けることができます。
    - ・ 伝染性の病気にかかった場合、必ずMKへ報告して下さい。報告をせずに校内で伝染病が広まった場合、MKは損害賠償を請求する場合があります。

★健康的なフィリピン生活の TIP - かかりやすい病気と対処法

- A) 腹痛 - 胃のむかつき、下痢、高熱などの症状が出て、通常 3~4 日、長くて数週間も続くことがあります。お湯やイオン飲料などで十分な水分摂取が必要です。症状が長引く場合は、必ず病院へ行き医師の診察を受けてください。
- B) 冷房病、風邪、脱水症状 - 室内外の気温差によって、冷房病にかかりやすくなります。頭痛や風邪も引き起こす可能性が高いので、室内では長袖を着るようにし、就寝時のエアコン温度調節も必要です。また、こまめに水分を補給すると共に、汗で失われたミネラル・ビタミン等をサプリメントで摂取することも効果的です。

1. 停電や断水について

- ・ フィリピンのインフラ環境上、停電や断水の可能性がありますので、下記ご留意下さい。
- ・ 環境上、水質状態が良くなく、水を出したときに濁っている可能性がありますので、ご注意ください。
- ・ 停電や断水が発生した場合、マネージャーの指示に従って行動して下さい。

2. 防疫作業、大掃除について

- ・ 防疫作業や大掃除があるときはあらかじめ案内します。作業に伴う部屋の整理などが発生した場合はご協力下さい。MK は紛失物について責任を負いかねますので、あらかじめ貴重品管理をしっかりとし、紛失等がないようご注意ください。

VI. ビザの延長と SSP、ACR-I カードについて

※Visa と SSP - 地域ごとに支払う費用が異なります。

- 1. Visa: フィリピンに滞在するための証書。学生の研修期間に応じて延長する必要があります。
- 2. SSP (Special Study Permit): 観光目的のビザで勉強できるようにする為に必要な許可証。なお、転校する場合は再度申請許可を受けなければなりません。
- 3. ACR-I カード (Alien Certificate of Registration): 59 日以上フィリピンに滞在する学生は作成しなければなりません。(移民局方針)
- 4. ARP (ALIEN REGISTRATION PROGRAM): 59 日以上フィリピンに滞在する学生は ARP の申請が必要です(料金はかかりません)。帰国の 1~2 週間前に学生本人が入国管理局に行く必要があります。その際、オフィスのスタッフが移民局まで同行します。

※上記文書は、フィリピンの入国管理局で行われます。変更が生じた際は別途お知らせします。

※初期費用は初日のオリエンテーションで精算します。(現金支払いのみ)

- マネージャーの案内に従って支払いをし、領収書をもって下さい。

<その他申請費用>

- ・ CRTV (Certificate of Residence for Temporary Visitors) - 6 カ月以上滞在の際に必要。約 1,610 ペソ
- ・ ECC (犯罪事実の証明書) - 6 カ月以上滞在の際に必要。 - 約 1,500 ペソ

VII. 返金について

- ・ 留学費用の全額が留学申込者から MK EDUCATION 日本事務所 (以下「日本事務所」) へ既に支払い済みである場合に適用されるものであり、未払いが存在する場合は別途算出の上、逆に日本事務所から学生本人へ請求される場合があります。
- ・ 学生本人への払い戻しが発生する場合、以下の要領で返金処理を行います。(「契約解除日」の定義は、「受講を終了する日」とします。)
- 返金の対象となるのは、4 週間以上のコースで契約解除となった場合に限定されます。
- 契約解除日までまでに要した実費相当額は差し引かれた上で払い戻されます。
- MK から日本事務所を経て返金がされる場合は、MK から日本事務所へ返金された後、MK から日本事務所への返金時における三菱東京 UFJ 銀行 TTB レートにて換算した上、日本円にて返金いたします。
- その他諸費用のうち、送金・返金に関わる手数料(海外送金手数料、振込み手数料など)は学生本人の負担とします
- 払い戻しは契約解除後 45 日以内に日本事務所より私指定口座に振込みをするものとします (申請は現地でも可能)。

※下記に当てはまる場合は返金の対象となりません。

- ①契約解除の場合の登録料
  - ②SSP、ビザ、ピックアップ代などコース費用以外の諸費用
  - ③始業日より遅く到着した場合や、研修の欠席による未受講分のコース費用(※1)
  - ④留学生都合により、授業日数が減少となった場合の差額
  - ⑤留学生がMKより除籍(強制退出)を受けた場合
  - ⑥4週間未満の登録(短期コース)で入学後に取り消しを希望した場合
  - ⑦入学後の申請によるコース変更によって発生した差額(留学生都合か否かを問わず)
- ※1: 原則的に補習授業は行われません。

契約解除タイミング	返金内容
入学前のキャンセル	登録料・海外送金手数料その他諸費用を除くコース費用返金
MK 到着日当日	コース費用の 65%払い戻し
受講期間が申込期間の 10%未満	残余コース費用の 65%払い戻し(※2)
受講期間が申込期間の 10~29%	残余コース費用の 50%払い戻し(※2)
受講期間が申込期間の 30~49%	残余コース費用の 30%払い戻し(※2)
受講期間が申込期間の 50%以上	返金なし

※2.残余期間コース費用は、当該契約解除通知日を含む週の翌週からの計算となります。また、残余コース費用の計算方法は、「申込期間のコース費用－受講期間のコース費用」となります。なお、「受講期間のコース費用」は申込期間のコース費用の日割計算ではなく、当初より受講期間分だけを申し込んでいた場合のコース費用と定義します。(例:受講期間1週間で契約解除する場合、受講期間のコース費用は1週間コースの料金が採用されます。)

## VIII. その他

1. 授業、自習、ウィークリーテストを合算した全体の出席率が85%未満の場合、及びマンスリーテストを受験していない場合、通常であれば卒業時に発行される修了書は発行されません。
2. 寮保証金は、退室時に部屋を確認し、異常がない場合全額返金されます(100ドル or 5,000ペソ or 10,000円)  
※但し、いくつかの規定に違反した場合、寮保証金は返金されません。
3. 部屋の鍵を紛失した場合、鍵デポジット(150ペソ)は返金されません。
4. 電気代、水道代及びランドリー超過料金は、毎月1日に掲示板に告知されます。1人あたりの基本料金(500ペソ)+使用量(人数に応じて変動)が付加されます。  
※支払いは毎月1日～14日で、延滞した場合は1日につき100ペソの延滞金が発生します。
5. 部屋に異常が発生した場合、オフィスに必ず報告してください。
6. 留学期間中は、毎日校内掲示板(1階正面玄関入口右側)にて内容を確認下さい。  
\*校内掲示板(未確認に起因して学生に生じる不利益にMKは一切責任を負いません)。
7. **フィリピン滞在期間中、パスポートは入国管理局に預けます。必要な際(予定よりも早く帰国する際など)は、10日前までにオフィスにご連絡下さい。**
8. 喫煙は、屋外の定められたエリアでのみ可能です。
9. 空港の送迎は、初期費用精算時にお支払いいただきます(30ドル or 1,500ペソ)。
10. 校内の備品・設備等を破損した場合、規定に基づき罰せられます。
11. MKや先生または他の学生にまつわる悪い噂などを校内に広めた場合、MKは強制対抗の措置を取ることもあります。(10点減点)
12. 先生やスタッフに不遜な態度を取った場合、規定に基づいて処罰されることがあります。
13. 学生へのペナルティーは、原則として公示されます。
14. 日本からMKへ荷物を送る場合、現地スタッフが郵便局へ宅配便を受け取りに行きます。宅配便1箱につき200ペソの手数料がかかります。(関税別途)

### ・旅行規定

- **旅行目的のためにMK外で宿泊する場合、旅行計画書を提出する必要があります。(Waiver form)** 旅行へ出発する際に必ず校長のサインを受けた旅行計画書のGuard's Copy(ガード控え)をガードに提出します。

- 旅行中の事故についてはすべて自己責任となり、MKは一切責任を負いません。  
※海外は日本と比べ治安と安全が整備されていないことを十分理解し、常に気を付ける必要があります。不慮の事故が発生した場合、MKは問題解決のために尽力をしますが、事故発生時にかかった費用などについては、学生やその家族に請求します。
- 旅行計画書を作成せず、無断で旅行に行く、外泊した場合は3点の減点を受けることとなります。
- ・ 減点制度規定規定  
違反をした場合、内容に応じて減点され、累積した点数に該当するペナルティーを受けることとなります。**1項以上の違反行為を行った場合、減点およびペナルティーを加算します。**

違反内容	減点
授業中携帯電話を使用(辞書として以外)したり、グループクラスにて他人に迷惑となる言動をする	1点
無断欠席1日	1点
自習室にて英語学習目的以外の動画を視聴・ダウンロード	1点
先生またはその他スタッフとの身体的接触	1点
先生との異性交際	10点
学生と先生間にクラス中に起きた個人的な問題を他人に漏洩する、もしくは発生した問題をオフィスを通じて解決しない場合	5点
学生と先生間の金銭のやりとり	5点
寮内での喫煙・種類搬入・炊事、食堂から食器・食べ物の搬出	4点
同性他人の部屋へ往復し、他人(部屋使用者)の生活に支障をもたらした場合	1点
MK所有の付属物(掲示板等)を損害もしくは撤去	10点
異性間の部屋出入り	10点
インターネットにロックをかけ、個人的な目的で使用する、もしくは不正ダウンロードをしてほかの学生の使用を妨害する	3点

門限違反	2点
不正な方法で校内侵入	3点
旅行計画書を作成せず無断で旅行へ行く、もしくは外泊する	3点
騒音騒ぎ	2点
賭博	5点
異性のフロアへ侵入	9点
平日(月曜日～木曜日)の飲酒	4点
他の学生に対して、身体もしくは言語上のセクシャルハラスメントおよびそれに当たる性的暴力行動	10点
MK の許可なしでの掲示物掲示	3点
窃盗・暴力(言語もしくは身体的)等民事・刑事上の犯罪行為	10点
MK 許可を得ずに外部の人を校内に連れ込む	10点
校内器物を破損・損壊・移動・変形させる	4点
先生や学生を扇動して、悪意に事実とは相違する噂などを校内に広めるような団体行動を扇動した場合	10点
其の他正当な理由なしに、MK スタッフの指示に従わない、もしくは不遜な態度を取る	5点

\* オフィスの判断により、上記リストに記載されていない事項に対しても、減点を実施する場合があります。

6点	週末6日外出禁止
7点	平日を含め2週間外出禁止
8点	校長面談および保証金50%減額および警告状発行および平日含め2週間外出禁止
9点	平日を含む3週間外出禁止
10点	強制退学(返金なし)

減点	ペナルティー
1点	口頭警告
2点	校長面談および反省文作成およびキャンペーン
3点	週末1日外出禁止
4点	週末2日外出禁止
5点	週末4日外出禁止